

動物園にて

東京都コレクションを中心に



林隆喜 伊豆サボテン公園、静岡県 「ZOO」より 1986年 東京都写真美術館蔵

AT
THE
ZOO

FROM THE TOKYO METROPOLITAN
COLLECTION AND OTHER
COLLECTIONS



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

動物園にて ――東京都コレクションを中心に

出品リスト | List of works

2023年11月16日(木)→2024年1月8日(月・祝)

東京都美術館 ギャラリーB

主催=東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館

連携=公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、東京都写真美術館、東京都現代美術館

*出品番号と展示順は必ずしも一致しません。

*会期中、一部展示替えを行います。前期:11月16日(木)～12月17(日)、後期:12月19日(火)～1月8日(月・祝)

*出品リストには、出品番号／資料名／作者・出版者等／制作年／技法材料／サイズ等／所蔵者／展示期間 (展示替がある資料のみ)を掲載しています。

*展示資料や展示期間は都合により変更する場合があります。

プロローグ | 「動物園」へ Prologue: At the Zoo

まずは、今から約87年前と63年前、それぞれ当時30代のある人物が、家族と一緒に上野の「動物園」に出かけた時の様子を8mmフィルムで撮影したホームムービーをご覧ください。「動物園」は大勢の人でにぎわい、柵の向こう側には様々な動物たちがいます。みなさんは、「動物園」にどんな思い出がありますか？

〇〇1	〇〇2
上野動物園 Ueno Zoo	上野動物公園 Ueno Zoo
昭和11年頃 c.1936	昭和35年 1960
8mmフィルム映像をデジタル化 14分18秒	8mmフィルム映像をデジタル化 4分26秒
生活工房蔵	生活工房蔵

第1章 | 動物を集める・見る Chapter 1: Collecting and Viewing Animals

ここでは、「動物園」が誕生する以前の日本における、動物の展示と鑑賞の様相を伝える資料をご覧ください。

明治初期、博物学的関心や殖産興業政策を背景に、国内各地に生息する動植物やそれらの剥製・標本を集め、分類し、保管・飼育・展示するという活動が始まりました。それは、西欧にならった博覧会開催・博物館創設といった政策の中で、公的に展開されていきます。このような動きがやがて、博物館の一部を構成するものとしての「動物園」の誕生へとつながっていきます。

「動物園」が生まれる以前の日本においても、珍しいいきものを集め有料で人々に見せるような場所や機会はすでに存在していました。しかしそれらは、展示動物の種類や規模、そして飼育環境への配慮という点においても、獣医学や生態学等の科学的見地を基礎に置く現在の「動物園」とはかけ離れたものでした。

どのような興味・関心・視点から、人々は動物を集め、見ようとしていたのでしょうか。

〇〇3	〇〇5
虎の見世物 Tiger Show	浅草公園花やしき大象 A Giant Elephant of Asakusa Park Hanayashiki
歌川広景 UTAGAWA Hirokage	明治時代 19th Century
万延元年 1860	紙、印刷 17.8×24.1cm
東京都江戸東京博物館蔵	東京都江戸東京博物館蔵
前期 (後期は複製展示)	後期 (前期は複製展示)

〇〇4
浅草観音境内ニ於テ興行仕候 仏蘭西曲馬
French Circus in the Precincts of the Asakusa Kannon Temple

歌川国輝 (2代)
UTAGAWA Kuniteru II
明治前期 19th Century
紙、木版 35.6×73.8cm
東京都江戸東京博物館蔵
後期 (前期は複製展示)

〇〇9
博物館列品図録 動物部 第一 Catalogue of The Museum’s Exhibits, Animal Section, Part 1
田中芳男 ／選、最上幸吉／画 TANAKA Yoshio, MOGAMI Kokichi
明治10年 1877
紙、印刷 60.0×66.4cm
東京国立博物館蔵

〇10
「博物館写生図」タヌキ Raccoon Dog, “The Museum’s Sketches of Birds and Animals”
服部雪斎 HATTORI Sessai
明治7年 1874
紙本着色 39.7×44.0cm
東京国立博物館蔵

〇11
「博物館写生図」カンガルー Kangaroo, “The Museum’s Sketches of Birds and Animals”
中島仰山 NAKAJIMA Kozan
明治15年 1882
紙本着色 68.8×95.4cm
東京国立博物館蔵

参考出品
「博物館獣譜」フットセイ (複製) Fur Seal, “The Museum’s Album of Animals”
服部雪斎 HATTORI Sessai
明治8年 1875
東京国立博物館蔵

参考出品
「博物館獣譜」水牛兎 (複製) Water Buffalo, “The Museum’s Album of Animals”
中島仰山 NAKAJIMA Kozan
明治7年 1874
東京国立博物館蔵

参考出品
「博物館獣譜」スイギウ (複製) Water Buffalo, “The Museum’s Album of Animals”
中島仰山 NAKAJIMA Kozan
明治13年 1924
紙、印刷 54.7×39.8cm
東京都江戸東京博物館蔵
後期 (前期は複製展示)

〇〇8
博覧会諸人群集之図 元昌平坂ニ於テ Large Crowds Visiting the Exposition, Motoshoheizaka
昇斎一景 SHOSAI Ikkei
明治5年 1872
紙、木版 3枚続
東京都江戸東京博物館蔵
前期 (後期は複製展示)

紙本着色 27.5×39.0cm
東京国立博物館蔵
〇13
「博物館禽譜」カルカモ Eastern Spot-Billed Duck, “The Museum’s Album of Birds”

中島仰山 NAKAJIMA Kozan
明治9年 1876
紙本着色 27.2×38.5cm
東京国立博物館蔵
参考出品

「内国勸業博覧会出品動物類写生」牛渡鳥国亀田群七重県試験場 青毛 牝一歳五ヶ月 (複製)
Cow, “Animal Sketches Exhibited at the National Industrial Exhibition”

中島仰山 NAKAJIMA Kozan
明治10年 1877
東京国立博物館蔵
参考出品
「内国勸業博覧会出品動物類写生」牛陸奥国北郡百石村字谷地頭野 斑栗毛 牝 四歳 (複製) Cow, “Animal Sketches Exhibited at the National Industrial Exhibition”

中島仰山 NAKAJIMA Kozan
明治10年 1877
東京国立博物館蔵
参考出品
「内国勸業博覧会出品動物類写生」馬陸中国紫波郡砂子澤村産 若手泉勸業場 青毛 牝 五歳 (複製) Horse, “Animal Sketches Exhibited at the National Industrial Exhibition”

中島仰山 NAKAJIMA Kozan
明治10年 1877
東京国立博物館蔵
参考出品
「内国勸業博覧会出品動物類写生」馬陸前国栗原郡鬼首村産 栗毛 牝五歳 (複製) Horse, “Animal Sketches Exhibited at the National Industrial Exhibition”

中島仰山 NAKAJIMA Kozan
明治10年 1877
東京国立博物館蔵

参考出品
「内国勸業博覧会出品動物類写生」ラバ東京四ツ谷内藤勸農局試験場ニテ当十年三月二十九日出生 ミイル 鹿毛 牝 (複製) Mule, “Animal Sketches Exhibited at the National Industrial Exhibition”

中島仰山 NAKAJIMA Kozan
明治10年 1877
東京国立博物館蔵

参考出品
「内国勸業博覧会出品動物類写生」島根県より出品せし良牛也 (複製) Cow, “Animal Sketches Exhibited at the 2nd National Industrial Exhibition”
中島仰山 NAKAJIMA Kozan
明治14年 1881
東京国立博物館蔵

参考出品
第二回内国勸業博覧会動物館 (複製) Animal hall at the 2nd National Industrial Exhibition
明治14年 1881
東京国立博物館蔵
参考出品
博覧会場諸建築並売店図「明治十年内国勸業博覧会場案内」 (複製) Venue map of the National Industrial Exhibition

内国勸業博覧会事務局
明治10年 1877
国立公文書館蔵

参考出品
第二回内国勸業博覧会場全図「第二回(明治十四年)内国勸業博覧会場案内」 (複製) Venue map of the 2nd National Industrial Exhibition
内国勸業博覧会事務局 明治14年 1881
国立公文書館蔵

〇14
第二回内国勸業博覧会 2nd National Industrial Exhibition
歌川国利 UTAGAWA Kunitoshi
明治14年 1881
紙、木版 24.7×37.5cm
東京都江戸東京博物館蔵
後期

〇15
第2回内国勸業博覧会之図 2nd National Industrial Exhibition
橋本周延 HASHIMOTO Chikanobu
明治14年 1881
紙、木版 3枚続
東京都江戸東京博物館蔵
前期 (後期は複製展示)

第2章 | 「動物園」を描く・写す―明治期～昭和初期の写生・宣伝美術

Chapter 2: Depicting “the Zoo”: Shasei (“Painting from Life”) and Advertising Art from Meiji to Early Showa

本章では、明治中期から昭和前期における美術やデザインといった視覚芸術に関わる2つのトピックを通して、上野に誕生した「動物園」の歴史の一端に光を当てていきます。

参考出品	
<div>[上野動物園正門]（複製）</div> <div>[Main Gate, Ueno Zoological Gardens]</div>	
<div>明治中期 Late 19th Century</div> <div>東京動物園協会蔵</div>	
参考出品	
<div>上野動物園之図</div> <div>(『『風俗画報』明治29年臨時増刊号所収</div> <div>(複製) Ueno Zoological Gardens, Meiji 29 Special Edition “Genre Paintings”</div> <div>明治29年 1896</div> <div>東京動物園協会蔵</div>	

〇16

「博物館写生図」シマフクロウ

Blakiston’s Fish Owl, “The Museum’s Sketches of Birds and Animals”

中島仰山
NAKAJIMA Kozan
明治18年 1885
紙本着色 54.0×65.4cm
東京国立博物館蔵

〇17

「博物館写生図」フシカモメ

(おおみずなぎどり)
Glaucous-winged Gull / Streaked Shearwater, “The Museum’s Sketches of Birds and Animals”

中島仰山
NAKAJIMA Kozan
明治18年 1885
紙本着色 39.2×54.3cm
東京国立博物館蔵

〇18

東京真画名所図解 上野動物園

True Pictures of Famous Places in Tokyo: Ueno Zoo

井上安治
INOUE Yasuji
明治前期 Late 19th Century
紙、木版 9.5×15.5cm
東京都江戸東京博物館蔵

[前期] (後期は複製展示)

〇19

動物園入場券
Zoological Gardens Admission Ticket

明治時代 Late 19th to early 20th Century
紙、印刷 6.0×4.0cm、5.0×3.3cm、5.5×3.8cm、4.5×3.1cm
4点2組
東京国立博物館蔵

〇20

動物園双六
Zoo Sugoroku Board
明治前期 Late 19th Century
紙、印刷 72.0×49.1cm
東京都江戸東京博物館蔵

[前期] (後期は複製展示)

〇21

明治22年 (1889)、上野の「動物園」の隣、東京教育博物館の旧建物内に、東京美術学校 (現在の東京藝術大学美術学部) が開校しました。当時両者の境には千川上水が流れ、その水は「動物園」でも使用されていました。

[トピック1] 「動物園」と東京美術学校 Topic 1: “The Zoo” and Tokyo Fine Arts School

明治22年 (1889)、上野の「動物園」の隣、東京教育博物館の旧建物内に、東京美術学校 (現在の東京藝術大学美術学部) が開校しました。当時両者の境には千川上水が流れ、その水は「動物園」でも使用されていました。

絵画技術の習得は紙に描かれた／刷られたお手本を写すものだという考え方が一般的であった時代において、実際に対象を観察しながらそのかたちを描き写す「写生」という言葉や行為は、多くの人にとってなじみの薄いものでした。美術学校では、この写生の授業を初期からカリキュラムに取り入れており、当時の学生たちが授業で描いた課題画にも、鳥や小動物の写生図が数多くみられます。学生たちは教室内で小動物の写生に取り組んだほか、時には動物写生のために「動物園」に出かけることもありました。美術学校と「動物園」との間では、写生のために学生の入園料を免除する制度なども整えられており、また、明治33年 (1900)の「動物園」に関わる公文書 (東京国立博物館史資料) 中には、美術学校からの依頼を受けて、鳥や猫、鼠、兎等の小動物を、写生のモデルとするために同校に貸出すための手続きの記録も残っています。

参考出品
東京勸業博覧会全図 (複製)
Complete Picture of the Tokyo Exhibition for the Promotion of Industry
明治40年 1907
台東区立図書館蔵

参考出品
明治末年の上野公園鳥観図 (玉塚栄次郎氏製作のもの) (複製)
Comprehensive View of Ueno Park, Final Years of the Meiji Era
明治末年～大正2年 Early 20th Century
台東区立図書館蔵

〇21

明治二十七年絵画科第一年写生優等成績
“Meiji 27 Honorable Mentions: Sketches by First-year Painting Department Students”

明治27年 1894
紙本着色 38.9×349.7cm
東京藝術大学大学美術館蔵

〇22

明治二十八年六月予備課程学年試業写生

〇23

課題画 猿写生
Assigned work, Monkey
長愛之
CHO Aishi
明治29年頃 c.1896
紙本着色 66.0×47.0cm
茨城県天心記念五浦美術館蔵

〇25

課題画 猿写生
Assigned work, Monkey
長愛之
CHO Aishi
明治29年頃 c.1896
紙本着色 66.0×47.0cm
茨城県天心記念五浦美術館蔵

〇26

課題画 猿写生
Assigned work, Monkey
河野亨
KONO Toru
明治29年頃 c.1896
紙本着色 66.0×46.3cm
茨城県天心記念五浦美術館蔵

〇27

課題画 猿写生
Assigned work, Monkey
移川三郎
IGAWA Saburo
明治29年 1896
紙本着色 64.5×46.8cm
茨城県天心記念五浦美術館蔵

〇28

『自明治四十四年一月至大正五年十二月授業関係書類 教務掛』
“January 1911 to December 1916: Class-related Documents, Academic Affairs Section”
明治44年 1911
東京藝術大学近現代美術史・大学史研究センター蔵

成績
“Exam Assignment Sketches by Preparatory Course Students, June Meiji 28”
明治28年 1895
紙本着色 44.7×302.5cm
東京藝術大学大学美術館蔵

〇23

課題画 猿写生
Assigned work, Monkey
清家恕
SEIKE

明治28年頃 c.1895
紙本着色 64.5×45.5cm
茨城県天心記念五浦美術館蔵

〇24

課題画 猿写生
Assigned work, Monkey
建部政治
TATEBE

明治29年頃 c.1896
紙本着色 60.8×47.0cm
茨城県天心記念五浦美術館蔵

〇25

課題画 猿写生
Assigned work, Monkey
三浦文治
MIURA Bunji
昭和6年 1931
絹本着色 166.7×174.7cm
東京藝術大学大学美術館蔵

〇31

動物園行楽 (卒業制作)
Graduation Work, Zoo Excursion
三浦文治
MIURA Bunji
昭和6年 1931
絹本着色 166.7×174.7cm
東京藝術大学大学美術館蔵

〇32

秋日 (卒業制作)
Graduation Work, Autumn Day

田村基
TAMURA

〇33

大正12年 (1923)9月の関東大震災後、上野の「動物園」は博物館 (当時の名称は「帝室博物館」) から分離し、上野公園とともに、東京市へと下賜されることとなりました。その後、大正末から昭和初頭にかけて、園地の拡大と動物舎の建替・増築が次々と進められていきました。

市民に開かれた「動物園」として新たな歩みを進めていた昭和初頭の一時期、上野の「動物園」を管轄する東京市の公園課に、田井正忠 (1909-41) という画家・図案家が雇われていました。幕末明治初期に活躍した日本画家・尾形月耕を祖父に持ち、本人も尾形真弓という雅号を持つこの人物は、東京市の式典や施設、そして「動物園」の広報用ポスター、入場券などの様々な広報物のグラフィックデザインを手掛けていたのです。

昭和8年 (1933)には、上野の「動物園」では恩賜10周年を記念して、来園者、とくに子どもへのサービスを意識した、多種の動物写生図をカラー印刷した入場券 (最初は全16種) が作成されましたが、この下絵を描いたのも田井でした。今回展示するこれらの仕事に関わる資料は、ご遺族のもとで大切に保管されてきたものです。

〇34

田井正忠氏旧蔵東京市動物園関係資料 一括
Former Collection, Tai Masatada, Materials Related to Tokyo City Zoos
昭和初期 1920s-1930s
個人蔵

昭和初期 1920s-1930s
個人蔵

大正7年 1918
東京藝術大学近現代美術史・大学史研究センター蔵

〇30

動物園観覧証交付者調
『自大正九年一月至昭和五年十二月 教務雑書綴』
List of Zoological Gardens Admission Ticket Recipients

大正14年 1925
東京藝術大学近現代美術史・大学史研究センター蔵

〇31

昭和10年 1935
紙本着色 四曲屏風 120.5×260.0cm
東京藝術大学大学美術館蔵

〇33

三浦文治
MIURA Bunji
昭和6年 1931
絹本着色 166.7×174.7cm
東京藝術大学大学美術館蔵

〇32

秋日 (卒業制作)
Graduation Work, Autumn Day

田村基
TAMURA

〇33

大正12年 (1923)9月の関東大震災後、上野の「動物園」は博物館 (当時の名称は「帝室博物館」) から分離し、上野公園とともに、東京市へと下賜されることとなりました。その後、大正末から昭和初頭にかけて、園地の拡大と動物舎の建替・増築が次々と進められていきました。

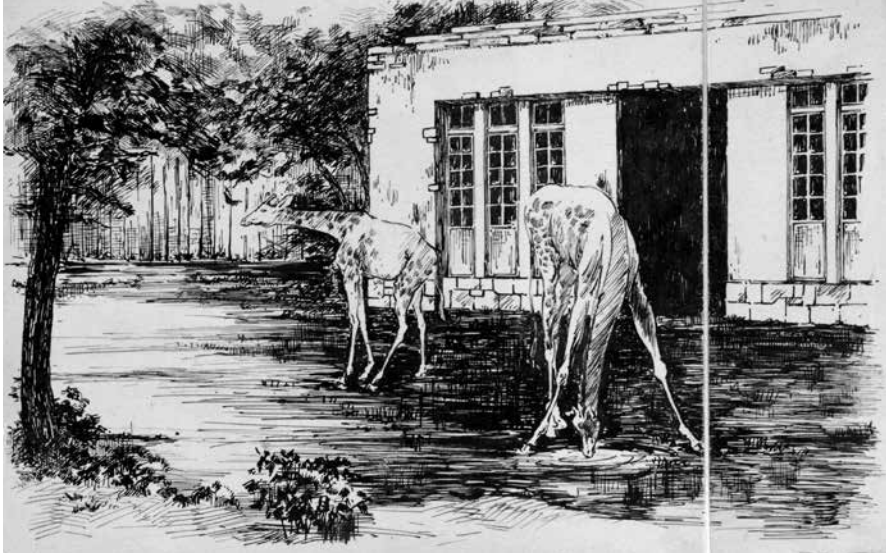
市民に開かれた「動物園」として新たな歩みを進めていた昭和初頭の一時期、上野の「動物園」を管轄する東京市の公園課に、田井正忠 (1909-41) という画家・図案家が雇われていました。幕末明治初期に活躍した日本画家・尾形月耕を祖父に持ち、本人も尾形真弓という雅号を持つこの人物は、東京市の式典や施設、そして「動物園」の広報用ポスター、入場券などの様々な広報物のグラフィックデザインを手掛けていたのです。

昭和8年 (1933)には、上野の「動物園」では恩賜10周年を記念して、来園者、とくに子どもへのサービスを意識した、多種の動物写生図をカラー印刷した入場券 (最初は全16種) が作成されましたが、この下絵を描いたのも田井でした。今回展示するこれらの仕事に関わる資料は、ご遺族のもとで大切に保管されてきたものです。

〇34

田井正忠氏旧蔵東京市動物園関係資料 一括
Former Collection, Tai Masatada, Materials Related to Tokyo City Zoos
昭和初期 1920s-1930s
個人蔵

昭和初期 1920s-1930s
個人蔵



田井正忠 入場券下絵 東京市動物園関係資料より 1920～30年代 個人蔵

第3章 | 「動物園」と戦争 Chapter 3: “The Zoo” and War

明治期から昭和期にかけて、日本は断続的に対外的な戦争を経験しましたが、この状況は「動物園」にも様々な変化と大きな影響をもたらしました。日清戦争 (明治27-28年 [1894-1895])、日露戦争 (明治37-38年 [1904-1905]) の際には、旅順口で捕獲されたフタコブラクダなど、いわゆる戦利品動物や軍功動物が軍部から上野の「動物園」に送られ、それらのための特別な展示場が設置されていきました。

写真家・米田知子 (1965-) による「*パラレル・ライフ*—ゾルゲを中心とする国際諜報団密会場所」シリーズには、昭和13年 (1938) 秋、旧ソ連のスパイ団の一員であった宮城与徳とギュンター・シュタインの密会の舞台となっていた上野動物園がうつし出されています。

昭和14年 (1939)3月、上野の「動物園」では「軍馬並軍用動物感謝週間」という行事が開催されます。戦時色の高まりに伴い、園内では防空演習も実施されるようになり、徐々に飼料の不足も深刻化していきました。そして、太平洋戦争突入後の昭和18年 (1943) から翌年にかけて、全国各地の「動物園」で、空襲による火災で猛獣が脱走した際の危険性を理由とした「猛獣処分」が行われるにいたります。

同年7月の東京都制開始により東京都立となった上野の「動物園」では、翌8月に東京都長官が発した猛獣処分命令により、ゾウのジョン、トンキー、花子の3頭など、14種27頭の動物が、その命を奪われました。この悲劇は、戦後、様々なメディアを通して語り継がれています。

	
<div>0 3 5</div>	<div>0 3 8</div>

上野動物園 I (宮城／スタイン)
「*パラレル・ライフ*—ゾルゲを中心とする国際諜報団密会場所」より
Ueno Zoo I, Tokyo (Miyagi & Stein) from The Parallel Lives of Others: Encountering with Sorge Spy Ring

米田知子
YONEDA Tomoko
2008
ゼラチン・シルバー・プリント 9.5×9.5cm
東京都写真美術館蔵

	
<div>0 3 6</div>	<div>0 3 9</div>

上野動物園 II (宮城／スタイン)
「*パラレル・ライフ*—ゾルゲを中心とする国際諜報団密会場所」より
Ueno Zoo II, Tokyo (Miyagi & Stein) from The Parallel Lives of Others: Encountering with Sorge Spy Ring.

米田知子
YONEDA Tomoko
2008
ゼラチン・シルバー・プリント 9.5×9.5cm
東京都写真美術館蔵

参考出品
軍馬並軍用動物感謝週間ポスター（複製）
Army Horses and Military Animals Appreciation Week
昭和14年 1939
東京動物園協会蔵

参考出品
軍馬並軍用動物感謝の夕ポスター（複製）
Evening, Army Horses and Military Animals Appreciation Week
昭和14年 1939
東京動物園協会蔵

0 3 7
『**動物園見物**』（『講談社の絵本』第4巻第6号）
“A Visit to the Zoo”(“Kodansha Children’s Books” Vol. 4, Issue 6)

大日本雄弁会講談社／発行
昭和16年3月1日 1941
漫画資料室 MORI蔵

	
<div>東松照明 動物園 (3)チンパンジー</div>	<div>1960年 東京都写真美術館蔵</div>

	
<div>0 4 2</div>	<div>『花子よ永遠に——』（『りぼん』8月号 [第14巻第10号] 付録）</div>

“Hanako Forever”（Supplement “Ribon” August Issue [Vol. 14, Issue 10]）
さわさかえ／作、吉森みきお／画、**集英社／発行**
SAWA Sakae, YOSHIMORI Mikio

昭和43年8月1日 1968
漫画資料室 MORI蔵

	
<div>0 4 3</div>	<div>『ドラえもん』第5巻</div>
<div>“Doraemon” Vol. 5</div>	

藤子・F・不二雄／作、小学館／発行
Fujiko F Fujio

昭和49年12月1日初版第1刷 昭和55年2月10日第52刷 1974
漫画資料室 MORI蔵

	
<div>0 4 0</div>	<div>飼料で支払う入場料 上野動物園 台東区</div>
<div>Admission Free Paid in Animal Feed, Ueno Zoological Gardens, Taito Ward</div>	

小柳次一
KOYANAGI Tsuguichi
昭和23年 1948
ゼラチン・シルバー・プリント 33.1×33.1cm
日本カメラ博物館蔵

	
<div>0 4 1</div>	<div>剥製になった猛獣 上野動物園 台東区</div>
<div>Stuffed Wild Animal Specimens, Ueno Zoological Gardens, Taito Ward</div>	
<div>小柳次一</div>	<div>KOYANAGI Tsuguichi</div>
<div>昭和23年 1948</div>	<div>ゼラチン・シルバー・プリント 32.9×32.9cm</div>
<div>日本カメラ博物館蔵</div>	

	
<div>0 4 8</div>	<div>動物園 (2)オランウータン</div>
<div>Zoo (2) : Orang-utan</div>	
<div>東松照明</div>	<div>TOMATSU Shomei</div>
<div>昭和35年 1960</div>	<div>インクジェット・プリント 25.3×48.3cm</div>
<div>東京都写真美術館蔵</div>	

第4章 | 「動物園」を描く・写す—東京都コレクションを中心に

Chapter 4: Painting and Photographing “the Zoo” — From the Tokyo Metropolitan Collection and Other Collections

本章では、東京都写真美術館と東京都現代美術館が所蔵する、戦前から1980年代にかけ国内外の様々な「動物園」に取材した作品と、「動物園にて」シリーズにより動物と人間を見つめ続けた画家・相笠昌義 (1939-) の作品をご覧ください。

太平洋戦争終戦後、上野の「動物園」には、「平和の使者」としてインドとタイからゾウが贈られます。タイからやって来た子ゾウは戦前の「花子」の名前を引き継ぎ「はな子」と名付けられました。そして、「動物園」もまた、「平和の象徴」へとすがたを変えていきました。

1950年代後半以降、各地の観光地における「動物園」や類似施設の開園が相次ぎ、1970年代後半から1980年代前半にかけてはサファリパーク型の「動物園」も次々と新設されていきます。写真家・富山治夫 (1935-2016) によって写されたのは、1958年開園の多摩動物公園内に、1964年に登場したアフリカ園を走るライオンバス。林隆喜 (1946-) は、日本各地の「動物園」や類似施設で撮影を行い、1986年に写真集『ZOO』を発表しました。

この時期、表現者たちはなぜ、「動物園」という場にまなざしを向けたのでしょうか。テーマやモチーフとして選択された「動物園」の光景と向き合いながら、これらの作品が生み出された時代と社会を見つめなおしていきます。

	
<div>0 4 4</div>	<div>動物園</div>
<div>Zoo</div>	

長谷川利行
HASEKAWA Toshiyuki
制作年不詳 Date unknown
水彩、パステル、紙 20.7×26.3cm
東京都現代美術館蔵

	
<div>0 4 5</div>	<div>猿</div>
<div>Monkey</div>	

大久保好六
OKUBO Koroku
昭和11年以前 Before 1936
プロムオイル印画 272×380cm
東京都写真美術館蔵

	
<div>0 4 6</div>	<div>上野動物園 (上野公園) 「カストリ時代」より</div>
<div>Ueno Zoo (Ueno Park)</div>	

林忠彦
HAYASHI Tadahiko
昭和24年以降 After 1949
ゼラチン・シルバー・プリント 36.8×35.4cm
東京都写真美術館蔵

	
<div>0 4 7</div>	<div>動物園 (1)マレーバク</div>
<div>Zoo (1) : Malayan Tapir</div>	

東松照明
TOMATSU Shomei
昭和31年 1956
インクジェット・プリント 35.2×48.3cm
東京都写真美術館蔵

	
<div>0 4 8</div>	<div>動物園 (2)オランウータン</div>
<div>Zoo (2) : Orang-utan</div>	

東松照明
TOMATSU Shomei
昭和35年 1960
インクジェット・プリント 25.3×48.3cm
東京都写真美術館蔵

0 4 9
動物園 (3)チンパンジー
Zoo (3) : Chimpanzees
東松照明
TOMATSU Shomei
昭和35年 1960
インクジェット・プリント 31.5×32.9cm
東京都写真美術館蔵

	
<div>0 5 0</div>	<div>動物園を見学する兵隊 旧東ベルリン 「ベルリン／東と西と」より</div>
<div>Soldiers visiting a zoo, former East Berlin</div>	
<div>長野重一</div>	<div>NAGANO Shigeichi</div>
<div>昭和35年 1960</div>	<div>ゼラチン・シルバー・プリント 38.5×30.3cm</div>
<div>東京都写真美術館蔵</div>	

	
<div>0 5 1</div>	<div>観賞 (多摩動物園) 「現代語感」より</div>
<div>Sightseeing (Tama Zoo)</div>	

富山治夫
TOMIYAMA Haruo
昭和39年 1964
ゼラチン・シルバー・プリント 28.0×49.5cm
東京都写真美術館蔵

	
<div>0 5 2</div>	<div>動物園にて・オラウータンをみる人</div>
<div>At the Zoo, People Looking at an Orangutan</div>	

相笠昌義
AIGASA Masayoshi
昭和51年 1976
油彩、カンヴァス 91.0×72.7cm
彩鳳堂画廊蔵

	
<div>0 5 3</div>	<div>動物園にて・サル舎の前で</div>
<div>At the Zoo, In Front of the Monkey House</div>	

相笠昌義
AIGASA Masayoshi
昭和51年 1976
油彩、カンヴァス 97.0×162.0cm
彩鳳堂画廊蔵

	
<div>0 5 4</div>	<div>東京 1970 ～ 1977 -9 (上野動物園)</div>
<div>Tokyo 1970 ～ 1977 -9 (Ueno Zoo)</div>	

児玉房子
KODAMA Fusako
昭和52年 1977
ゼラチン・シルバー・プリント 28.5×50.8cm
東京都写真美術館蔵

	
<div>0 5 5</div>	<div>伊豆サボテン公園、静岡県 「ZOO」より</div>
<div>Izu Cactus Garden Shizuoka Pref.</div>	

林隆喜
HAYASHI Takanobu
昭和61年 1986
ゼラチン・シルバー・プリント 32.6×60.4cm
東京都写真美術館蔵

	
<div>0 5 6</div>	<div>伊豆サボテン公園、静岡県 「ZOO」より</div>
<div>Izu Cactus Garden Shizuoka Pref.</div>	

林隆喜
HAYASHI Takanobu
昭和61年 1986
ゼラチン・シルバー・プリント 32.6×60.4cm
東京都写真美術館蔵

	
<div>0 5 7</div>	<div>上野動物園、東京都 「ZOO」より</div>
<div>Ueno Metropolitan Zoo, Tokyo</div>	

林隆喜
HAYASHI Takanobu
昭和61年 1986
ゼラチン・シルバー・プリント 32.6×60.4cm
東京都写真美術館蔵

	
<div>0 5 8</div>	<div>上野動物園、東京都 「ZOO」より</div>
<div>Ueno Metropolitan Zoo, Tokyo</div>	

林隆喜
HAYASHI Takanobu
昭和61年 1986
ゼラチン・シルバー・プリント 32.6×60.4cm
東京都写真美術館蔵

動物園の中で生まれ、動物園で一生を終える「ZOO ANIMALS (動物園動物)」。写真家・酒航太 (1873-) は、2010年代から日本各地の動物園を訪れ、そこに暮らす動物たちに接近し、レンズを向けてきました。

水中に漂うもの、こちらをまっすぐに見つめるもの、集って共に時間を過ごすもの。こちらの視線を気にしているようでもあり、全く意に介さないようでもある動物園動物たちの姿や表情の中に、私達は、どのような意志や感情を読みとることができるでしょうか。

そのまなざしの先へ、人間たちは帰っていきます。

〇 5 9

ZOO ANIMALS

ZOO ANIMALS

酒航太

SAKE Kota

2013-2019

ゼラチン・シルバー・プリント

31.0×46.2cm 21点

作家蔵

[トピック3] はな子のいる風景 Topic 3: Scenes with Hanako

記録集『はな子のいる風景』(2017年発行)は、戦後最初に来日し、2016年に国内最高齢のゾウとして69歳で死んだはな子との記念写真を広く募集し、その写真や提供者へのアンケート、はな子に関する公的記録(飼育日誌、象舎図面、新聞記事等)を編集したものです。大勢の市民に知られ、愛されたゾウのはな子を結び目として、別々の家庭のアルバムに収められていた写真と言葉が集まった本書。そこに、日本の戦後社会とそこに確かに生きた人々の記憶が立ち上がります。

〇 6 〇

『はな子のいる風景』

Scenes with Hanako I'm calling you. Rebirth of humans and the elephant.

AHA! [Archive for Human Activities/人類の営みのためのアーカイブ]/企画、松本篤 (AHA!)/取材・編集・執筆・構成、尾中俊介 (Calamari Inc.)/デザイン・構成、武蔵野市立吉祥寺美術館/発行
2017

主要参考文献

- ・秋山正美『動物園の昭和史』データハウス、1995年
- ・相笠昌義「サルを描くこと」『相笠昌義 日常生活』美術出版社、1996年
- ・磯野直秀「東京国立博物館蔵『博物館図譜』について」『慶応義塾大学日吉紀要・自然科学』No.12、1992年
- ・磯野直秀「博物書の宝庫—帝室本」『Museum』526、1995年
- ・上野動物園開園120周年記念行事実行委員会編『動物園で撮った家族の写真』平凡社、2002年
- ・大澤天仙「上野動物園」『少年世界』8巻6号、1902年
- ・木下直之『動物園巡礼』東京大学出版会、2018年
- ・國雄行『博覧会と明治の日本』吉川弘文館、2010年
- ・古賀忠道「上野動物園の沿革」『庭園』14巻6号、1932年
- ・児島薫「服部雪斎—博物図譜の名手」『幕末・明治の画家たち—文明開化のはざまに』べりかん社、1992年
- ・小菅正夫・岩野俊郎著、島泰三編『戦う動物園』中公新書、2006年
- ・小原真史『帝国の祭典—博覧会と(人間の展示)』水声社、2022年
- ・小宮輝之『物語 上野動物園の歴史』中公新書、2010年
- ・小宮輝之『昔々の上野動物園、絵はがき物語』求龍堂、2012年
- ・小宮輝之解説・監修、持丸依子・中川成生・小宮輝之編『動物たちの130年』公益財団法人東京動物園協会、2012年
- ・小森厚『上野動物園』郷学舎、1981年
- ・齊藤洋一「徳川慶喜とお抱え写真師中島敏次郎—幕府開成所との関係を巡って—」『日本写真芸術学会誌』4巻2号、1995年
- ・齊藤洋一「徳川慶喜を巡る三つの視点」『没後100年 徳川慶喜』松戸市戸定歴史館、静岡市美術館、2013年
- ・佐々木時雄『動物園の歴史』講談社学術文庫、1987年
- ・佐々木央『ルポ 動物園』ちくま新書、2022年
- ・佐渡友陽「動物園を考える 日本と世界の違いを超えて」東京大学出版会、2022年
- ・椎名仙卓『明治博物館事始め』思文閣出版、1989年
- ・椎名仙卓『日本博物館成立史—博覧会から博物館へ[普及版]』雄山閣、2022年
- ・田中秀夫『田中秀男は何をした人か』田中秀男の胸像制作等を願う市民会議 田中秀男を知る会、2008年
- ・福田三郎『実録 上野動物園』毎日新聞社、1986年
- ・藤本陽子「草創期の東京美術学校」『ファミリー美術館'95 若き日の日本美術—明治期の図画教育と画家たち—』茨城県近代美術館、1995年
- ・藤本陽子「岡倉天心在職中における東京美術学校のカリキュラムとその実際—茨城県天心記念五浦美術館所蔵東京美術学校学生制作について—」『茨城県近代美術館研究紀要』8、茨城県近代美術館、2001年
- ・べりかん写真文庫編集部編、東松照明写真「べりかん写真文庫20 動物園」平凡社、1957年
- ・前島康彦『東京公園史話 38』『都市公園』73、1981年
- ・溝井裕一『動物園・その歴史と冒険』中公新書ラクレ、2021年
- ・若生謙二「近代日本における動物園の発展過程に関する研究」『造園雑誌』46巻1号、1982年
- ・『特別展 画家たちの動物園』京都市美術館、2002年
- ・『現代史資料 24 ソルゲ事件』みすず書房
- ・『写真で見た国立科学博物館120年の歩み』国立科学博物館、1998年
- ・国立科学博物館編『国立科学博物館叢書 日本の博物図譜—十九世紀から現代まで』東海大学出版会、2001年
- ・「東京国立博物館館史資料」682「重要雑録 登録27号 明治33年」1900年
- ・東京国立博物館編『東京国立博物館百年史』東京国立博物館、1973年
- ・東京国立博物館編『目でみる120年』東京国立博物館、1992年
- ・東京都恩賜上野動物園編『上野動物園百年史』東京都恩賜上野動物園、1982年
- ・『東京美術学校一覽 明治23年-45年』東京美術学校、1980-1912年
- ・中村準太郎編『内国勸業博覧会道しるべ』伊東勝之助、1877年
- ・『内国勸業博覧会場案内 改正増補』内国勸業博覧会事務局、1877年